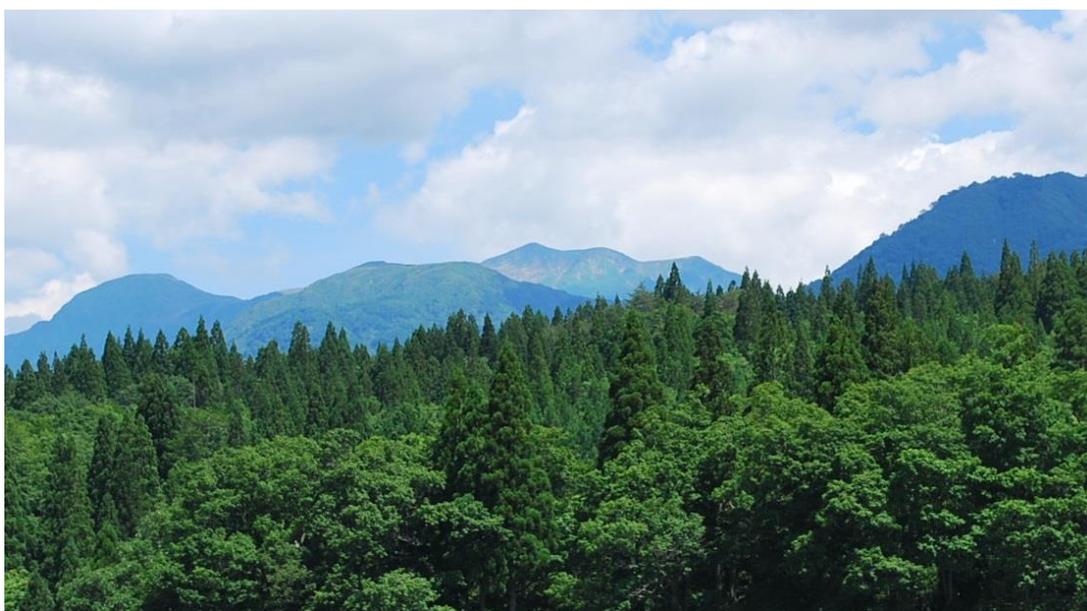


平成27年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



平成28年7月
郡上市役所農林水産部林務課

【 目次 】

はじめに	……………	P 3
I. 平成 27 年度の総括	……………	P 6
II. 基本的施策ごとの実施状況	……………	P 8
1. 災害に強い山づくり		
2. 多様性のある山づくり		
3. 快適な森林空間づくり		
4. 木材資源の循環		
5. 森林資源の利用促進		
6. 山を支える人づくり		
7. 地域を支える人づくり		
8. 林業を支える人づくり		
■ 資料 郡上市の森林・林業	……………	P 20

はじめに

郡上市では、平成22年3月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

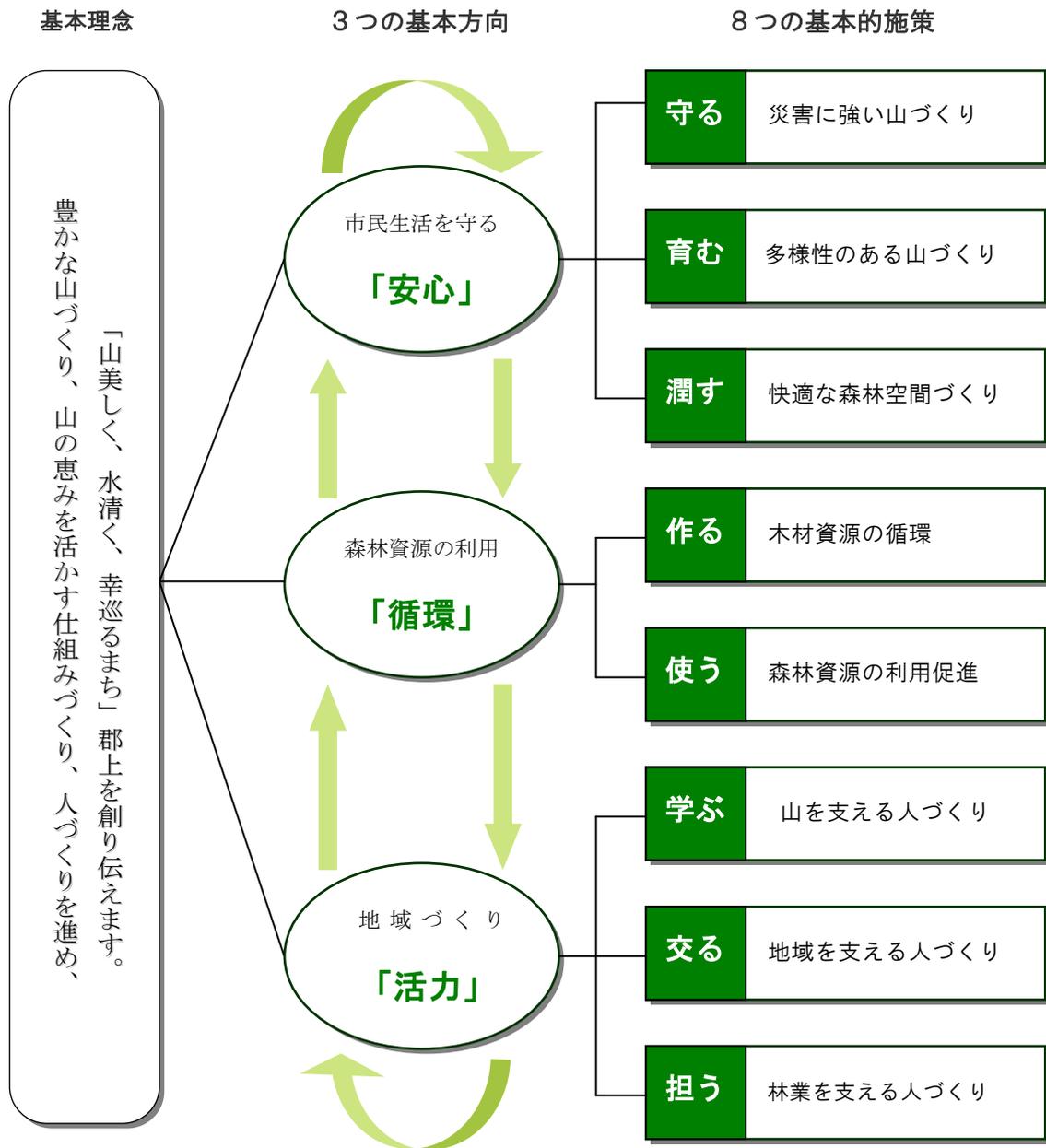
構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の3つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

平成27年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。



● 『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

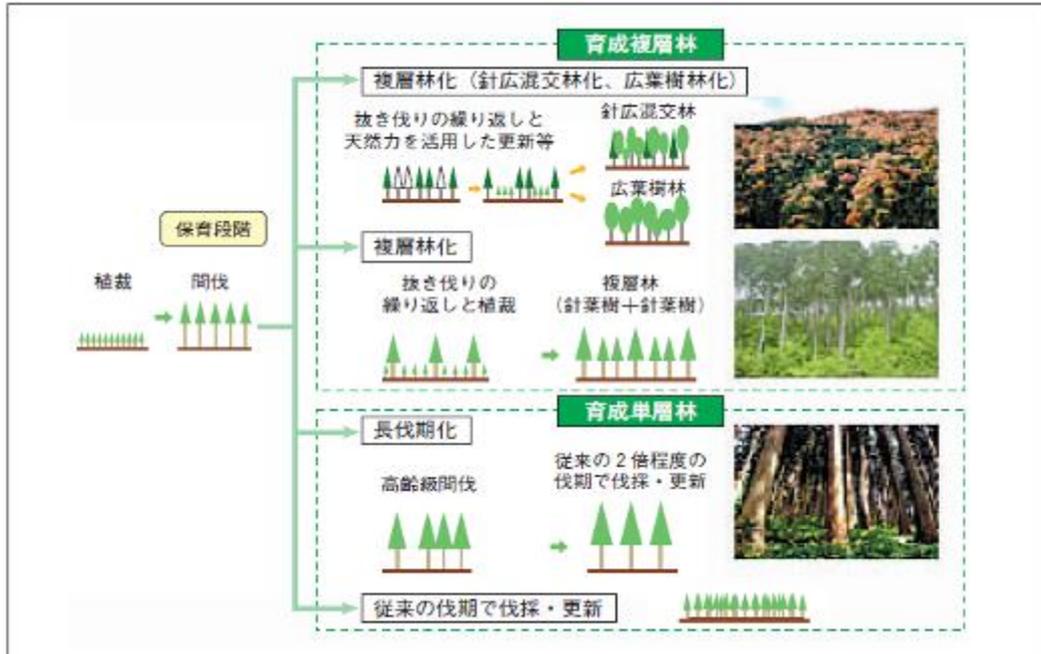
< 施策体系 >



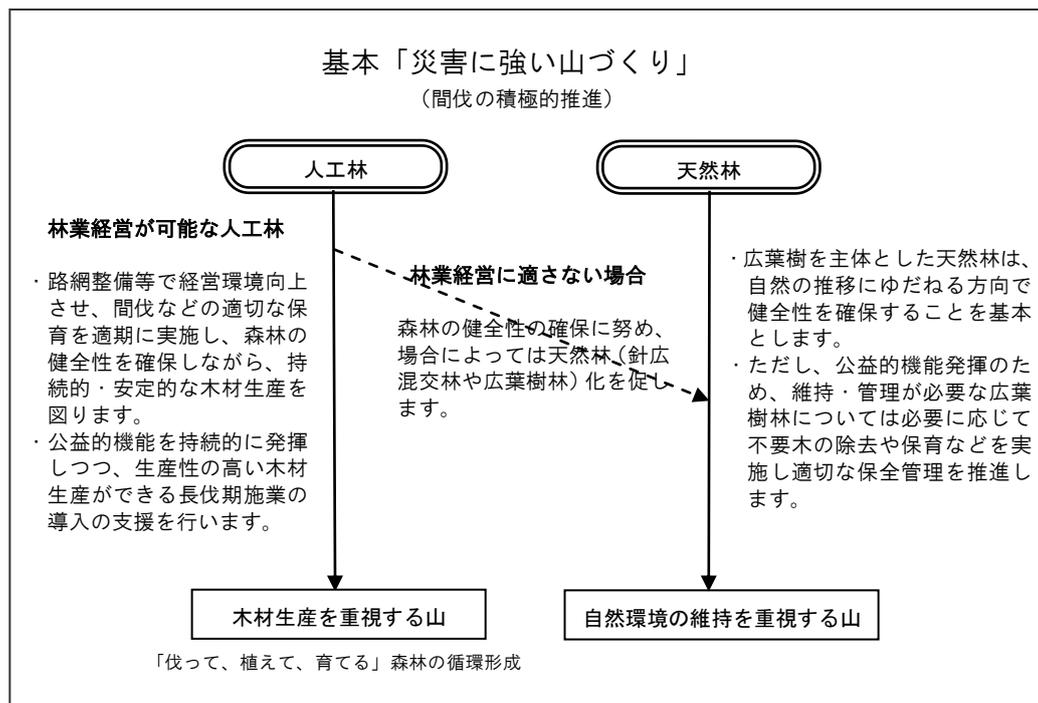
郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく3つの基本方向、8つの基本的施策により山づくりを進めることとしています。

●多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



●森林整備の基本方向



I. 平成 27 年度の総括

平成 27 年度は、国において「日本再興戦略」改定 2015、「まち・ひと・しごと創生基本方針 2015」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015 改訂版）」が閣議決定されました。これらの戦略や基本方針では、林業の成長産業化を推進することとし、森林資源のフル活用に向けて、バランスの取れた木材需要を創出し、需要に応じた安定供給体制を確立することに加え、林業の生産性の向上を図り、林業の担い手の育成・確保を進めるとしています。

また、パリで開催された「COP21」では、温暖化対策における森林の役割の重要性を明確に示した「パリ協定」が採択され、森林吸収量目標を達成するために、間伐や主伐後の再造林などの森林整備や木材利用等の森林吸収源対策を着実に実施することが必要となっています。

県では第 39 回全国育樹祭が揖斐川町で開催され、関連行事として、「100 年の森づくりリレー伐採式」、「同出発式」及び「育林技術交流集会」が郡上市で開催されました。また郡上市が主催する「郡上市みどりの祭り」は 100 年の森づくりリレー伐採式と併催し、さらに育林技術交流集会に合わせて「育林現地見学会」を開催し郡上市の林業を全国に PR しました。

こうした中、伐期を迎えた森林資源の有効活用と公益的機能の維持増進を図り、また、長良川木材事業協同組合製材工場の本格稼働等に伴う木材需要の増加に対応するため、市では嵩上補助の拡充による搬出間伐の推進と、素材生産量の増加に取り組みました。

森林環境の適正な維持管理については、森林環境税を活用した環境保全林整備事業、里山林整備事業や市単独の小規模森林整備事業により整備を推進しました。

また、植栽木への食害を及ぼすニホンジカ対策として、「森林動物共生サポートセンター」を設立し、林業者との協力による捕獲体制の確立に取り組みました。

木材利用に関しては、和良町安郷野集会所の木造化、郡上市産材住宅建設支援など地域産材を利用した木造建築の推進や、明宝デイサービスセンターへの薪ボイラー設置、木質燃料ストーブ購入への支援など、木質バイオマス利用の推進を図ってきました。

また、森林・林業の担い手育成のため、森林・林業人材育成事業や「郡上市みどりの祭り」により森林を守り育てることの大切さの普及・啓発に努めました。

①郡上市森林整備計画の樹立

・平成 28 年 4 月を始期とする郡上市森林整備計画を策定しました。平成 26 年度から、森林経営計画が林班計画に加え、区域計画が作成可能となったことに伴い、市内全域を 30

の区域に分け指定しました。経営計画は平成 27 年度までに 132 件、20,744ha を認定しました。今後は、策定しやすくなった区域計画に移行し計画策定がさらに進むと期待されます。

②公共施設の木質化・木造化の推進

・公共施設の木質化・木造化を図りました。

■和良町 安郷野集会所



安郷野集会所

③木質バイオマスエネルギー利用促進

・木質バイオマスエネルギーの地産地消システムの普及モデルとして、平成 27 年度は明宝デイサービスセンターに薪ボイラーを設置しました。

薪ボイラー 100kw 1基



明宝デイサービスセンターの薪ボイラー

④森林動物共生サポートセンターの設立

・林業者と協力し森林におけるニホンジカを捕獲する体制を整備するため、「森林動物共生サポートセンター」を設立し、林業者への聞き取り調査や捕獲に関する研修会を開催した。また、伐採跡地へ防除ネットを張りセンサーカメラでシカの動きを観察することにより、効果的な捕獲方法の検討を行いました。



ニホンジカに関する研修会（和良町）

⑤郡上市みどりの祭り、100年の森づくりリレー

・ 粥川の森（美並町）で、揖斐川町で開催された第 39 回全国育樹祭の関連行事「100 年の森づくりリレー 伐採式 in 郡上」と合わせて「郡上市みどりの祭り」を開催し、約 300 名がスギの大木の伐採を見学し、森林とふれあいました。

また、同関連行事として、「100 年の森づくりリレー出発式」、「育林現地見学会」、「2015 育林技術交流集会」が開催され、市民だけではなく、県内外の人に郡上市の森林づくりを PR しました。



伐採式で伐採されたスギを見る子供たち

Ⅱ. 基本的施策ごとの実施状況

8つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

守る

1. 災害に強い山づくり

① 間伐の積極的推進

■ 間伐の推進

平成27年度の郡上市全体の間伐面積は1,346haで、その内の561haの間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。

平成27年度から利用間伐について1haあたり60m³以上搬出した箇所については、嵩上率を90%まで引き上げたことにより、利用間伐は前年より233ha増加し、34,100m³の木材を搬出しました。利用間伐に適さない森林については、森林・環境基金事業を利用して452haの切捨間伐を実施しました。

(造林推進事業、森林・環境基金事業)

実績	単位：ha			
年度	H24	H25	H26	H27
間伐	1,976	1,435	1,103	1,346
うち利用間伐	568	654	575	808
うち補助対象面積	851	535	466	561

※伐採届、補助実績より



搬出間伐状況（八幡町河鹿地内）

■ 森林整備事業の実施

植林、保育など森林整備に関する事業に対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。（造林推進事業）

施業	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績
植林	18.29ha	12.12ha	13.32ha	39.80ha
下刈り	81.61ha	79.51ha	96.60ha	101.87ha
雪起し	46.83ha	51.45ha	65.86ha	77.74ha
除伐	27.84ha	8.23ha	12.45ha	16.34ha
枝打ち	48.74ha	2.57ha	24.60ha	0.00ha



植栽状況（大和町大間見地内）

② 違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

■ 伐採届に対する指導

地域森林計画の対象になっている森林の伐採について、27年度は219件の伐採届（森林法第10条）を受理し、届出者に対して伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

■ 皆伐跡地の調査

皆伐跡地の植生状況調査のため、7月から10月にかけて県・市担当者が市内6地域、14箇所の皆伐跡地を調査しました。



プロット調査の様子

③ 保安林と治山事業

■ 保安林

保安林内間伐届出書を81件受理し、届出者に伐採方法等について指導を行いました。

■ 治山事業の実施

県では、山地災害により被災した箇所の早期復旧のため、災害発生から概ね3年以内に、復旧対策の完了を目標としています。市内においては、復旧治山事業など25箇所が施工されました。



集落環境保全整備事業（八幡町小那比地内）

治山事業実施状況

事業名	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績
復旧治山事業	7 箇所	8 箇所	4 箇所	4 箇所
予防治山事業	13 箇所	13 箇所	8 箇所	5 箇所
奥地保安林保全緊急対策事業	2 箇所	3 箇所	2 箇所	1 箇所
東海北陸自動車道土砂流出対策事業	4 箇所	-箇所	- 箇所	- 箇所
県単治山事業	9 箇所	3 箇所	8 箇所	7 箇所
集落環境保全整備事業	2 箇所	1 箇所	3 箇所	8 箇所
	37 箇所	35 箇所	25 箇所	25 箇所

① 森林整備の考え方

■ 郡上市森林整備計画の樹立

平成 28 年 4 月を始期とする郡上市森林整備計画を策定しました。その中で、造林・伐採・搬出を一体として効率的に行うことができる区域として、市内 30 区域を指定しました。

森林経営計画は、区域計画への移行も含め、平成 27 年度までに、132 件、20,744ha の森林経営計画が認定されました。また、森林整備地域活動支援交付金事業等により、森林経営計画の作成や間伐等の施業の促進について支援しました。(森林整備地域活動支援交付金事業)

経営計画実績

	H25	H26	H27
認定件数	46 件	28 件	21 件
面積	6,132 ha	2,998ha	2,006ha

森林整備地域活動支援交付金事業実績

	H24	H25	H26	H27
協定数	10 件	1 件	6 件	3 件
対象森林面積	16,581 ha	56ha	6,415ha	6,127ha

② 森林情報の整備

■ 所有者届出制度の運用

森林法の改正により、平成 24 年 4 月以降義務付けられた、森林の土地の所有者届出について、平成 27 年度は 224 件の届出を受理しました。また、届出がされていない人へ直接、提出を促すことにより、未届者の減少につながりました。

	H25	H26	H27
届出件数	204 件	159 件	224 件

■ 境界明確化事業の推進

森林境界が不明確なため森林整備が進んでいない森林において、森林施業地の集約化の拡大を図るため 2 件 168ha の境界明確化を行いました。

	H24	H25	H26	H27
境界明確化実施面積	24ha	274 ha	309ha	168ha

■ 居住地周辺の整備

【森林山村多面的機能発揮対策事業】

25年度に創設されたこの事業を5地域8団体が活用し、約55haの里山整備を行いました。この事業は地域住民が中心となった民間協働組織が実施する里山林等の保安全管理等の取組に対して、一定の費用を国が助成するもので、森林の有する多面的機能の持続的な発揮と、地域力の向上を通じ市民や観光客に対して、里山整備の重要性や効果を広く周知することが期待されます。

実績

	H26	H27
活動団体	8団体	8団体
対象面積	64.98ha	54.60ha
活動内容	下刈・雑木の伐採及び集積・作業路の作設及び補修・森林環境教育など	



森林環境教育（八幡町地内）

【小規模森林整備事業】

面積が小規模であることなどから、国県の補助事業の対象とならない森林整備に対し19件、13.73haに助成を行い森林の育成や保全を図りました。平成27年度から対象面積を0.05～3ha以下に拡大したことにより、実績が大幅に伸びました。

小規模森林整備事業 実績

内容	H24	H25	H26	H27
申請件数	8件	9件	8件	19件
雪起し・植栽 間伐・下刈り	5.3ha	3.5ha	1.76ha	13.37ha



間伐状況（八幡町地内）

■ 苗木植栽への支援

面積が小規模であることなどから国・県の補助事業の対象とならない公共用地等の緑化に対して、緑の募金事業を活用して6件の緑化事業のために必要な苗木の配布支援を行いました。



植栽状況（郡上高校）

② 鳥獣害対策

■鳥獣害対策の推進

林業者と協力しニホンジカを捕獲する体制を確立するため、「森林動物共生サポートセンター」の立ち上げを支援し、ニホンジカの効果的な捕獲方法や林業者との連携について検討・調整を行いました。

【捕獲対策】

鳥獣被害防止総合対策緊急捕獲支援事業、森林・環境税を活用したニホンジカの個体数調整により、被害が多発しているニホンジカ等の捕獲に努めました。結果、前年度に比べると半減ではあるものの、年間で2,171頭(羽)の有害鳥獣が捕獲されました。昨年設置した鳥獣被害対策実施隊は24名増え279名となりました。また、わな補助者の制度を活用し、免許所持者を中心に集落単位で地域ぐるみの有害鳥獣捕獲体制づくりを推進しました。



ニホンザル用大型囲いわな
(美並町)

有害鳥獣年間捕獲数

内容	H24	H25	H26	H27
イノシシ	459頭	500頭	1,058頭	230頭
ニホンジカ	1,577頭	1,741頭	4,081頭	1,684頭
ニホンザル	245頭	161頭	304頭	191頭
カラス	143羽	195羽	124羽	62羽
カワウ	-	14羽	8羽	4羽
ツキノワグマ	0頭	0頭	21頭	0頭
合計	2,424頭 (羽)	2,611頭 (羽)	5,596頭 (羽)	2,171頭 (羽)

【防除対策】

電気柵、檻に対して助成する防除事業(郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業)や、狩猟鳥獣を食材にするジビエの取組みなどが進められました。

地域別被害額(農作物)

(単位:千円)

地区名	H24	H25	H26	H27
八幡	16,415	13,222	14,437	7,918
大和	6,991	10,100	9,548	7,180
白鳥	4,472	4,280	4,301	4,186
高鷲	4,968	6,082	6,881	2,800
美並	11,215	5,971	4,150	4,787
明宝	10,204	10,910	4,786	2,248
和良	13,189	7,537	4,025	3,130
計	67,454	58,102	48,128	32,249

③ 利用の促進

■ 「城山公園（八幡）」、「音楽の森（明宝）」の改修

市民と森林のふれあいの場である八幡町の城山公園、明宝の音楽の森の遊歩道、休憩小屋などにおいて一部老朽化が進み、安全面での機能が低下している個所がみられたため、森林環境税「里山林整備事業」を活用して遊歩道や休憩施設等の施設改修を実施しました。

（森林・環境基金事業）



遊歩道整備（明宝）

作る

4. 木材資源の循環

① 団地化の推進と機械化

■ 高性能林業機械等の導入

27年度には、2事業体がスイングヤーダーを購入し、効率的な森林施業の体制を整備しました。

高性能林業機械の保有状況（27年度末現在）

プロセッサ	ハーベスタ	タリヤーダ	スイングヤーダ	計
8台	4台	1台	11台	24台



スイングヤーダー

② 路網の整備

■ 林内路網の整備

林道を1,284m開設するとともに、作業路の開設は、事業体が行う加速化事業分も含めると88路線27,871mが開設されました。

内容	H24	H25	H26	H27
林道の開設	6,610m	1,618m	1,878m	1,284m
作業路の開設	35路線 13,167m	54路線 21,477m	64路線 28,129m	88路線 27,871m
林内路網密度	23.3m/ha	23.6m/ha	23.9m/ha	24.4m/ha

① 加工・流通体制の整備、商品の開発

■ 大型製材工場の稼働

大型製材工場が、平成 27 年 9 月に本格稼働を始め、市内の木材需要が増加しました。年間 5 万 m³、将来的には 10 万 m³の製材を行う計画です。

定期的に木材生産推進会議、原木需給調整会議を開催し、原木の安定供給に努めています。



土場に入荷された原木

② 公共施設の木造化、木質化の推進

■ 木造化の推進

和良町の安郷野集会所が県産材をふんだんに使用した木造で新築されました。

(県産材需要拡大施設等整備事業)



安郷野集会所（和良町）

③ 木造建築の促進

■ 郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と市内への定住促進を図るため、『郡上市産材住宅建設等支援奨励金制度』に取り組みました。この制度は、郡上の木を 80%以上使って新築する場合などに 10～50 万円の奨励金を交付するもので、52 件交付しました。

また、平成 27 年度から、増改築・リフォームも対象としました。

(郡上市産材住宅建設等支援奨励金事業)

内容	H24	H25	H26	H27
交付件数	50 件	52 件	54 件	52 件
郡上市産材 80%以上使用	88%	83%	80%	81%
新規定住につながったもの	42%	31%	46%	48%



郡上市産材による壁のリフォーム

④ 森林資源の利活用促進

■ 地域材を活用した木質バイオマスエネルギーの利用

明宝地域において、地域内の森林資源を活用した木質バイオマスエネルギー循環システムの構築を目指し、昨年の明宝温泉に続き明宝デイサービスセンターに薪ボイラーを導入しました。



薪ボイラー（明宝）

■ 薪ストーブ購入補助制度の活用

23年度から開始した薪ストーブ購入補助制度の27年度申請交付件数は40件（うちペレットストーブ20台）でした。25年3月から事業施設（農業用施設・作業所等）も交付対象としています。（森林資源活用事業）

	H24	H25	H26	H27
申請交付件数	40件	37件	36件	40件

※本体価格が20万円以上のストーブを対象とし、本体価格の3分の1（上限10万円）を助成

■ 木の駅プロジェクトの推進

林地残材の有効活用と地域内商店等の活性化を目的として実施されている『木の駅プロジェクト』は、27年度は4団体で実施されました。（森林・環境基金事業）

団体別搬出量

（単位：t）

団体名	H25	H26	H27
白鳥町木の駅プロジェクト実行委員会	13.6	3.8	22.6
たかす木の駅会議	147.7	198.4	157.1
小川里山クラブ	63.5	59.2	53.6
口明方木の駅実行委員会	—	20.0	20.0
計	224.8	281.4	253.3



口明方木の駅実行委員会

① 学校教育との連携

■ 森林環境教育の推進

市内6つのみどりの少年団へ助成金を交付して活動支援を行いました。

また、林業グループ、林業普及指導員、市職員が林業体験や森林教室を行いました。



林業教室（高鷲町）

② 市民への普及・啓発

■ 郡上市みどりの祭り、100年の森づくりリレー開催

粥川の森で『郡上市みどりの祭り』、第39回全国育樹祭関連行事の『100年の森づくりリレー 伐採式』を開催しました。樹齢100年を超えるスギの大木を伐採し、次代を担う子どもたちと森を守り育てる宣言をし、子どもたちと植樹をし、木材や木の実などを利用したクラフト体験や植樹・薪割り体験などが実施され、市民が緑に親しみました。



植樹活動（美並町）

また、全国育樹祭関連行事として『100年の森づくりリレー出発式』、『育林現地検討会』、『2015 育林技術交流集会』も開催され、郡上市の林業をPRしました。

■ 森の通信簿事業

簡単な調査手法により森や川を点数評価し、森林の健全度を理解する「森の通信簿」の事業が高鷲地区で行われました。



「森の通信簿」実施状況（高鷲町）

③ 林業グループ等団体の育成、強化

■ 林業グループの育成、強化

市内で活動する林業グループへ助成金を交付して、活動の支援を行いました。また、各林業グループの活動や会議等に参加し情報や課題を共有しました。（林業グループ活動育成等事業）



活動の様子（薪割体験）

交る

7. 地域を支える人づくり

① 地域座談会の開催

■ 森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な推進課題を検討するため、市民、林材業関係者、行政により組織された郡上市森林づくり推進会議を開催しました。27年度は、ゾーニング、木質バイオマス利用について検討しました。



森林づくり推進会議の様子

② 下流域との交流の促進

■ 企業の森・上下流連携

平成20年に締結された県、市、ブラザー工業の3者協定に基づき、高平延年の森で春・秋の2回植樹活動しました。この活動は、環境保全活動に関心の高い企業に市内森林において地域住民とともに森林保全活動に参画・貢献してもらうものです。



ブラザーの森植樹

■ 長良川源流の森育成事業

郡上漁協主催のもと、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の水源涵養と、「山から川へ、そして海へ」と続く源流部の森を育成し、豊かな生態系を維持・増進することを目的として、大和町古道地内において広葉樹の植樹を行いました。27年度で6回目となり、130名の方が参加されました。

③ 地域資源を生かした交流

■ 東京都港区との交流

みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか 76 自治体）の首長が集い、みなと森と水サミット 2015 が東京都港区で開催されました。

郡上市においては、郡上市産材を使用した製品の普及を目的として、18 事業者が uni4m に登録しています。

担う

8. 林業を支える人づくり

① 雇用環境改善への支援

■ 市産材製品支援

市産材を使用した木製品の普及促進を目的として、1 事業者に対し、2 名の雇用支援と 1 名の処遇改善支援を行いました。

■ 郡上の山ぬし自力間伐講座の開催

森林所有者を対象に、間伐の理論とチェーンソーを使った安全作業の講習会が開催されました。これは森林・環境税を活用した「木の駅プロジェクト」の一環で、受講者はチェーンソーの使い方などの講義を受け、市有林で実習を行いました。



間伐講習の様子

② 森林技術者の育成と技術の継承

■ 人材育成研修への参加・支援

林業に関する担い手の育成のため、県内で各研修が行われました。施業プランナー研修は 27 年度までに市内 6 つの林業事業者から 16 名が受講されました。その他、27 年度は、フォレストワーカー研修に 8 名が受講されました。

市では、7 事業者及び 1 高等学校の延べ 261 名に対し、研修費用を助成し専門的な知識及び技術習得を支援しました。（森林・林業人材育成事業）

■ 緑化功労者表彰

緑化活動に長年貢献したことが認められ、郡上市から3名、1団体が表彰を受けられました。

緑化功労者 岐阜県緑化功労者表彰「知事表彰」 岐阜県緑化功労者表彰「会長表彰」	団体 1 白鳥林生会 個人 3 野々俣 小夜子 野々俣 洋子 中村 昭紀 (敬称略)
---	--

■ 資料 郡上市の森林・林業

1. 森林の概況
2. 間伐実施状況
3. 県内他市町村との比較
4. 林業・木材産業の動向
5. 林業の担い手等の動向

1. 森林の概況

- 市総面積の約 9 割が森林 ※表 1
- 森林の 97%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 ※表 2
- 民有林人工林の蓄積量は 15,816 千 m^3 で資源が充実 ※表 3
- 人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い
 - 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
 - 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
 - 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度
- 人工林の 84.6%が間伐対象林分 (3~12 齢級=11~60 年生) ※表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合

単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,079	92,621	1,739	8,719	89.8%

[表 2] 所有形態別森林面積

単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 (割合%)	81,683 (88.2)	8,250 (8.9)	2,688 (3.3)	92,621 (100.0)

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量

単位：千 m^3

区分	人工林			天然林	合計
	12 齢級まで	13 齢級以上	計		
蓄積量 (割合%)	12,363 (56.8)	3,756 (17.3)	16,119 (74.1)	5,628 (25.9)	21,746 (100.0)

[表 4] 民有林人工林齢級別面積

単位：ha

区分	1~2	3~7	8~9	10~12	13~	合計
面積 (割合%)	250 (0.5)	9,223 (18.5)	12,982 (26.0)	19,328 (38.8)	8,068 (16.2)	49,851 (100.0)

2. 間伐実施状況

○ 27年度は、約1,300haの間伐を実施

○ 郡上市は県全体間伐実施量の約13%を実施

間伐実績

単位：ha

年度	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
郡上市	3,236	3,023	3,093	3,078	2,630	1,967	1,435	1,103	1,346
県全体	14,559	14,428	14,373	14,284	14,000	12,400	8,382	8,598	9,840

(県)新緊急間伐推進5ヶ年計画

(県)間伐推進加速化計画

(県)間伐推進加速化計画(改訂)

3. 県内他市町村との比較

総森林面積 ha

1	高山市	200,747
2	郡上市	92,621
3	下呂市	78,405
4	飛騨市	74,030
5	揖斐川町	73,445

民有林人工林面積 ha

1	郡上市	49,851
2	高山市	45,301
3	下呂市	33,364
4	中津川市	23,281
5	恵那市	20,819

民有林人工林蓄積 千m³

1	郡上市	16,119
2	高山市	12,163
3	下呂市	11,910
4	中津川市	6,729
5	揖斐川町	6,178

年間除間伐実施面積 ha

1	郡上市	1,137
2	高山市	1,107
3	下呂市	1,025
4	恵那市	669
5	関市	659

年間造林実施面積 ha

1	郡上市	82
2	本巣市	68
3	高山市	28
4	大垣市	27
5	関市	22

森林作業道等開設実績

1	下呂市	82路線(54,660m)
2	高山市	63路線(44,900m)
3	郡上市	66路線(28,131m)
4	東白川村	55路線(20,950m)
5	八百津町	34路線(17,034m)

林道路線数

1	郡上市	275路線(610,484m)
2	高山市	275路線(598,067m)
3	下呂市	212路線(520,731m)
4	中津川市	202路線(511,726m)
5	関市	137路線(238,580m)

森林技術者数

1	高山市	193人(27事業体)
2	郡上市	164人(22事業体)
3	中津川市	79人(13事業体)
4	下呂市	76人(14事業体)
5	恵那市	69人(10事業体)

平成26年度版 岐阜県森林・林業統計書より

4. 林業・木材産業の動向

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	備考
主伐面積・材積	70.4ha 16.0千m ³	116.3ha 46.0千m ³	127.0ha 48.6千m ³	林道・作業路の 支障木伐採等を含 む
間伐面積	1,976ha	1,435.39ha	1,102.75ha	
うち利用間伐 (造林補助)	567.7ha 27.7千m ³	654.3ha 25.0千m ³	575.0ha 21.4千m ³	
素材生産量	43.7千m ³	71千m ³	70千m ³	
木材流通量(2市場)	37千m ³	40千m ³	39千m ³	
原木加工量	8千m ³	11千m ³	9千m ³	
シイタケ生産量 (生・乾)	428.4t	385.4t	286.6t	
住宅着工数(木造)	123戸	146戸	108戸	

5. 林業の担い手等の動向

	H 2 4	H 2 5	H 2 6	備考
林業就業者数	171人	190人	164人	
林業総生産額	1,345百万円	1,322百万	1,296百万円	
林道・作業道開設実績	6.6+13.2Km	1.6+21.5Km	1.9+28.1Km	
路網密度	23.3 m/ha	23.6 m/ha	23.9 m/ha	